

**DOPPEL
GANGER**

伸びる輪行キャリングバッグ

取扱説明書

DCB298

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。またお読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。お買い上げ日、または商品到着日から7日間以内に不具合が無いかをご確認ください。ようよろしくお願いいたします。該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。外装用の袋は、乳幼児や小さなお子様にとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。

本製品は自転車用の輪行バッグです。本来の用途以外では使用しないでください。製品に関する最新の情報、サポート情報等は、ホームページでご確認いただけますので、定期的にご覧ください。

Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product. This product is designed and manufactured for use in Japan only We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan. The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product. The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

警告

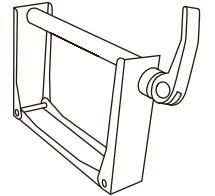
死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 乳幼児や小さなお子様の手の届くところで保管しないでください。窒息の危険がともないます。

注意

傷を負う可能性または物理的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 製品をストーブなど熱源のそば、直射日光の当たる高温の場所などに放置しないでください。変形、変色、引火の恐れがあります。
- アイロンは掛けしないでください。変形、変色、引火の恐れがあります。
- 直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。変色や色あせの原因となります。
- 高温・多湿の環境で、長時間他の素材と密着させると、色移りが生じる可能性があります。
- 無理に自転車を収納したり、強い衝撃を加えたりすると破損する原因となります。取り扱いにご注意ください。
- 生地や各部の縫製は、無理な力を加えるなど乱暴な扱いをすると破損する恐れがあります。
- 使用時の摩擦などにより色落ちや色移りの可能性があります。
- 防水仕様ではありません。濡れると製品の内側にも浸透しますので、雨天でのご使用時はご注意ください。
- 車体への傷が心配な場合は、緩衝材等の使用をおすすめします。
- 車輪をフレームに固定する際、しっかりと固定してください。不十分だと小傷が付きやすくなります。
- 輪行される場合は、ご利用の各種交通機関の規定に従ってください。
- 市販のエンド金具（別売）を必ずご使用ください。
(右図参照)
- エンド金具を取り付けずに本製品を使用された場合、ディレーラーやフォークエンドが変形・損傷する可能性があります。



メンテナンス・廃棄方法

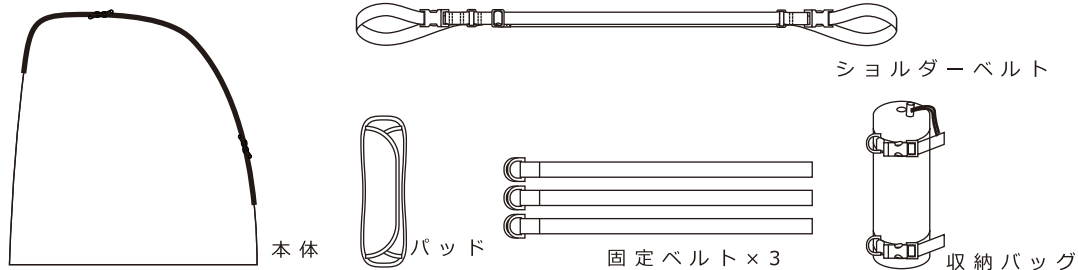
- 製品が濡れた場合は、乾いたタオルなどで水分を拭き取り、直射日光の当たらない場所で十分に乾かしてください。濡れたまま放置すると、変色や生地の劣化、においの原因となります。
- 汚れを落とす際は、水分を含んだぞうきんを使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

品質表示

- ・適合車種：大径車（カゴなどを取付けている場合、適合しない場合もあります。）
- ・材質：ポリエステル 原産国：中国

各部名称・付属品

必要な部品が揃っていることを確認してください。

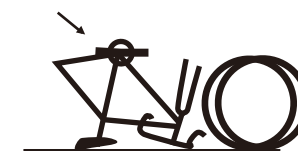
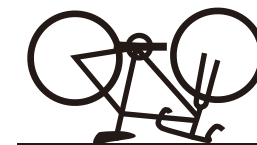
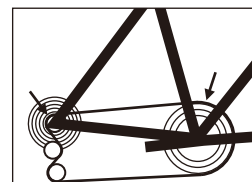


使用方法

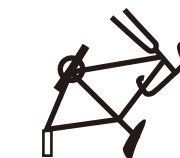
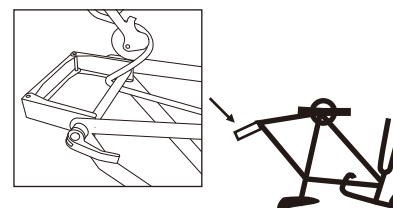
※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

【自転車の準備】

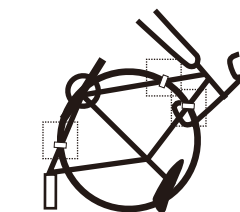
- 1 チェーンの位置をフロントギアでは一番外側（一番大きいギア）に、リアギアでは一番外側（一番小さいギア）にしてください。
- 2 前輪と後輪をはずします。
（この時、自転車の天地を逆にすると作業が楽に行なえます。）



- 3 リアディレーラーを保護するため、後輪の軸受け部分にエンド金具（別売）を取り付けます。
- 4 エンド金具とサドルが地面側に来るよう自転車を立てます。



- 5 はずした前輪・後輪を自転車本体を挟むようにしてセットし、付属の固定ベルトで固定します。



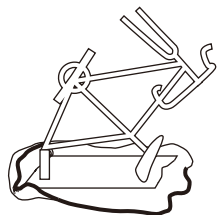
※自転車フレームを傷から守るため、チェーンやギアなどの突起物にカバー等を付けることを推奨します。
※エンド金具（別売）を必ず取り付けてください。
※本製品は折り畳み式フレームを対象としたものではありません。

【自転車を輪行袋に入れる】

- 1 ファスナーを全開にし、底面ができるかぎり露出した状態で輪行袋を床に配置します。



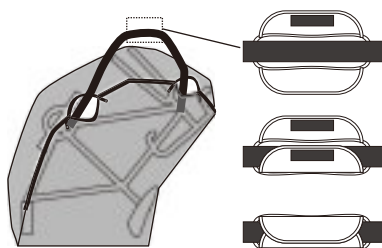
- 2 底面のイラストにならい、ディレーラーとサドルの方向に気をつけながら自転車を袋の底面に置きます。



- 3 自転車が底面中央に配置されている事を確認の上、ファスナーを最後までゆっくと締めてください。



- 4 ファスナーの隙間からショルダーベルトを通し、自転車フレームと固定します。



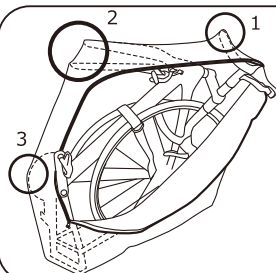
※生地を伸ばしながら、ペダル、ギア、フロントフォークなどの引っ掛かりを避けながら入れてください。

※輪行袋からショルダーベルトを取り出す最適な位置まで、各ファスナー取っ手を移動させてください。

※ショルダーベルトのバックルを使い、両端を輪状にして自転車フレームに固定します。

※ベルトの長さはお好みで調整してください。

※バックル固定が不十分な場合、固定がはずれ自転車が落下する危険があります。カチッと音がするまでしっかりと固定してください。



■収納のコツ

ファスナー部分は伸びないため、一気にファスナー部を被せようとする、左記突起物が邪魔になり、入らないことがあります。生地全体を平均的に伸ばしながら、まずはファスナー部が突起物（ハンドル、フロントフォーク、チェーンホイール）をひとつずつ順に越えるよう被せてください。

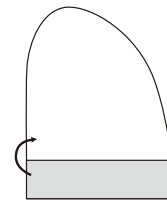
1) ハンドル部、2) フロントフォーク、3) チェーンホイールの順番に被せていくと、サイズの大きな自転車でも無理なく入れることができます。

※ファスナー部を力任せに引っ張らないようご注意ください。ファスナー部の破損に繋がります。

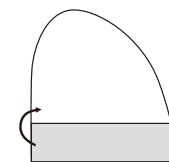
収納方法

※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

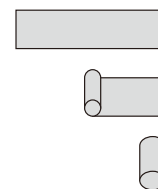
- 1 自転車を取り出した輪行袋を地面に広げ、シワを伸ばします。



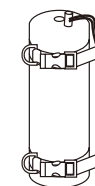
- 2 底面の幅にあわせて、折りたたんでいきます。



- 3 帯状になるまでたたんだ後、筒状に生地を巻き込んでいきます。



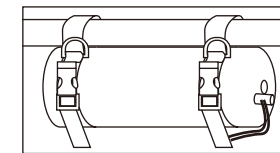
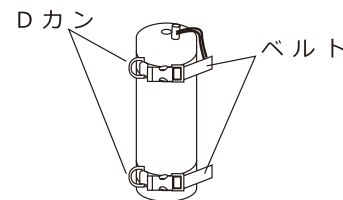
- 4 筒状になった輪行袋を付属の収納バッグに収納します。



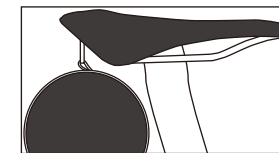
収納バッグの固定方法

※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

ベルトで自転車フレームと固定したり、Dカンを利用し、サドルやリュックなどに吊り下げて固定することができます。



フレーム固定



Dカン吊り下げ固定